

## 「やる気」を出して取り組んだ2学期！ 終業式12月26日(金)

【児童代表の発表】 4人の代表者が2学期を振り返って発表をしました。



1年松組石川文音さん「2学きは、マラソンを2しゅうできるようになりました。きゅうしよくをのこさなくなりました。おそうじをしずかにできるようになりました。」1年竹組依田紅璃さん「一ばんがんばったことは、マラソン大会です。れんしゅうでタイムをはかったときは、6いで、5ふん10びょうでした。もっとよいじゅんいになりたいとおもったので、げん気っこマラソンもがんばりました。」

5年松組児島優衣さん「私は五年生らしくを心がけてきました。低学年の見本になるように、大きな声であいさつ、すばやくならぶなどです。あいさつは、言われた方もうれしいし、言った方も気持ちがよくなる言葉なので、2学期特に頑張りました。」5年竹組宮本真惟さん「私の2学期のめあては、運動会、音楽会、マラソン大会の3つでした。運動会の組み体操で、6年生とやる技が難しかったけど、一生懸命練習して、本番は全て成功して気持ちが良かったです。」

【校長先生のお話】 「ともだちをたすけたゾウたち」

アヌーラはオスゾウで今年で推定年齢61歳の日本で最も年をとったゾウです。そのアヌーラが多摩動物公園にやってきてまもなくのことでした。



ある日、このアヌーラが病気になり、熱が出てきました。目がうるみ、体がふるえ、食べることも出来にくくなりました。よろよろしながらも、必死に立ち続けている。なぜでしょう。それは、大きな動物なので、一度横になってしまうと、再び起き上がることができなくなるからです。そんなアヌーラを見ていた二頭の象（タカコとガチャコ）がいました。その二頭が不思議な行動を始めました。一頭が右から、もう一頭が左から並ぶようにして、肩を寄せ、左右からアヌーラを支え始めました。アヌーラは、びっくりした顔をしましたが、やがてその意味がわかり、安心したように体をあずけました。そんなことが二週間続き、やっと、少しずつアヌーラは元気になりました。アヌーラが少し元気になった後、このアヌーラを支えていた二頭は、一頭ずつ交代し、かわりばんこにアヌーラを支えました。これも二週間以上続きました。アヌーラが病気になって一カ月以上にわたって、この行動がされました。

人間でない象、親子でも兄弟でもない三頭。この三頭の行動を、みんなはどのように思いますか。本能だと思いますか。私は友情だと思います。

2学期の85日間にみんなは、友情－友だちのために一生懸命何かをしてあげたことはありましたか。自分自身ががんばることと同じ位、人のため、友だちのためにがんばってあげたことがありましたか。私は、友情と呼ばれるようなことがみんなの中にあっただと思います。だから、2学期、みんな、一生懸命がんばれたと思います。三学期にもきっとあると信じています。

[校長先生から冬休み3つのお願い]

- ①年越しのお手伝いをしっかりやる
- ②家族でしっかり楽しむ
- ③3学期の準備、休みの課題に集中して取り組む

## 心に残る一冊に出会おう！読書旬間 12/10～19



読書旬間中の12月10日（水）に図書委員会による、児童集会が行われました。読書旬間の内容について説明した後に、図書委員全員による「もしもぼくがサンタクロースのともだちだったら」の読み聞かせが行われました。

もしもぼくがサンタクロースのともだちだったら、サンタクロースのかくれがにつれていってもらうんだ

そのかくれがで、サンタクロースといっしょに、テレビをみて、トランプをしながら、おかしをたべて・・・

ゆうはんはもちろんすきやき、きっとサンタクロースはすきやきをきにいるとおもうな、いとこんにやくなんかつるつるとたべるだろうな、

ちょっとしんぱいなのは、トナカイがぼくにもなついてくれるか・・・ってこと。あいつはけっこうきむずかしいからね。たぶんになじんをやれば、なかよくなれるとおもうんだけど・・・。(中略)

それからぼくはサンタクロースのそりにおくってもらってうちへかえるんだ「またあそぼ」ってゆびきりをしてね。おしまい。

## みんなで仲良く力を合わせて ゆいと祭り 12/24

縦割りのゆいとグループになり、5つのゲームを楽しみながら、かくしワードを完成させていきました。6年生を中心に上級生が声をかけ、指示を出しグループをまとめていました。1年生の手をひいてあげる子、やり方や言い方を教えてあげる子など心温まる姿がたくさん見られました。

